

みんなで子育て No.2

家庭教育学級リーダー研修会を開催しました！

《研修テーマ》

学びのある家庭教育学級を目指した効果的な運営について
～「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を位置付けて～

家庭教育学級リーダー研修会に多くの方にご参加いただきありがとうございました。初めてWebによる双方向の会議に参加された方もみえたと思いますが、昨年度のアンケートに「参加者同士の交流の時間」を設けほしいというお声があり、以前のような対面での交流の時間に代わるものとして、今年度は「Webによるグループ交流会」を設けました。様子を拝見していると活発に意見交流してみえる姿があり、得るものが多くあったのではないかと感じています。

今年度の家庭教育学級の計画の交流をしていただきましたが、今後の活動の参考にさせていただいたり、同じような活動を計画して見える場合は、個別に情報交流を行っていただいたりすると、学級活動の向上や発展につながると思います。研修会の中では岐阜県のHPに過去の取り組みがたくさん紹介されていることとお話いたしました。また、「家庭教育」についての認識を深めたり、確認していただくよい資料が他にもありますので、紹介させていただきます。



実践発表・交流会の様子



文部科学省が、「家庭教育手帳」というものを作成しています。2度改訂されており、現在のものは平成22年版です。「乳幼児編」「小学生（低～中）編」「小学生（高）～中学生編」の3冊があります。

メモ帳サイズの小さな冊子ですが、子育てを行う上で大切なことが、端的にまとめられている冊子です。一度目を通していただくとよいのではないのでしょうか。「文部科学省 家庭教育手帳」で検索すると出てきますので、ご活用ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/katei/2006_techou/mokuji.htm



生活リズムの確立を図ることは家庭教育の重要な柱です。「早ね 早おき 朝ごはん」は、子どもの望ましい基本的生活習慣を育成し、生活リズムを向上させ、読書や外遊び・スポーツなど様々な活動にいきいきと取り組むことができる子に育てることをめざす全国的に取り組まれている運動です。

この運動の目的や内容を理解し、家庭教育を推進するために上手に活用していくのも1つの方法だと思います。ご検討ください。



家庭教育学級動画資料が、岐阜県のHPにアップされています。是非ご活用ください。右の写真は、「家庭教育を实践する日」の啓発動画です。8のつく日と第三日曜日は、岐阜県が進める「家庭教育を实践する日」です。この日は早く帰宅し、家族とのふれあいの時間を意図的に作っていただく日になっています。「家庭教育を实践する日」の啓発のために、催しを始める前の待ち時間などにご活用ください。



家庭教育学級リーダー研修会(小学校の部)

本巣市立真桑小学校による実践発表

「コツコツぐんぐんおうち勉強」の方法

- ▶ 取組の期間は、中学校の定期テストの取組に時期にあわせる。
- ▶ 取組の重点を設定し、どのように取り組めばよいかわかりやすくした。
 - ◆ 家庭学習の開始時刻を決め、計画的に取り組み、目標時間以上がんばりましょう。
 - ◆ テレビを消し、ゲームやスマホをやめて、読書をするなど家族との団らん時間を作しましょう。
- ▶ 取組の計画を明示し、いつ何をおこなえばよいかわかるようにした。

平成28年度当時のPTA役員が、子どもに学習習慣を身に付けさせるためには家庭と学校が連携することが大切であると考えられ、保護者自身が主体的に家庭学習の在り方を見つめ直そうと「家庭学習」の取り組みが始められました。「勉強のことは学校に任せればよい。」という考え方を見直し、子どもに望ましい学習習慣を身に付けさせるのは保護者の役割であるという熱意が感じられます。時間の経緯と共に、より多くの保護者に親しまれる取り組みとなるよう活動の名前を「コツコツぐんぐんおうち勉強」と変更され、現在に至っているということで、この取り組みについて発表されました。

学年×10分+10分

コツコツぐんぐん！おうちべんきょう ～かぞくといっしょに～

いちにちのもくろひょうべんきょうじかん... 分

6年 組 なまえ

家族の支え

家庭で協力すること (例年の例: テレビを消した・ゲームの前に勉強・タイマーを使って勉強・まよふたいで勉強・おしゃべりしない時間を作ったなど)

日	勉強を始める時間		ポイント	何分勉強しましたか	ポイント	今日のポイント合計	ご褒美
	もくひょう	ひかり					
6/11 (金)	時	分	ポイント	分	ポイント	ポイント	ハグ または ホメホメ
6/12 (土)	時	分	ポイント	分	ポイント	ポイント	ハグ または ホメホメ
6/13 (日)	時	分	ポイント	分	ポイント	ポイント	ハグ または ホメホメ
6/14 (月)	時	分	ポイント	分	ポイント	ポイント	ハグ または ホメホメ
6/15 (火)	時	分	ポイント	分	ポイント	ポイント	ハグ または ホメホメ
6/16 (水)	時	分	ポイント	分	ポイント	ポイント	ハグ または ホメホメ
6/17 (木)	時	分	ポイント	分	ポイント	ポイント	ハグ または ホメホメ
ポイント合計			ポイント	ポイント合計	ポイント	ポイント	28ポイント以上のホメホメ「こつぐんマスター」だ！

ぼく・わたしの感想 (がんばったこと・気持ちなど)

おうちの人からお子さんへ (振り返り・気持ちなど)

振り返り

評価(認め)

振り返り

取り組みを実践するにあたり、左上のスライドに示めされたような3つの工夫をされました。

また、左の取組表にあるように、「家族との約束を含め、子どもの学習を保護者がどのように支えていくのか」を「家族で協力すること」の欄に記入するよう工夫されることで、保護者の意識も高めてみえます。

学習開始時刻、学習取り組み時間についてはポイント制を導入し、取り組み具合を数値化することで、状況を認識しやすくされています。

7日間の合計が28ポイント以上で「こつぐんマスター」に認定されるのも子どもたちの意欲を掻き立てる手法として面白いですね！

③『こつぐんマスター』(合計28ポイント以上の割合(%))
 毎日のポイント合計(最高5ポイント)を記入し、7日間のポイントを合計しました。
 全学年において『こつぐんマスター』は、50%を超えていました。

こつぐんマスター	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	64	66	73	61	60	53

④1日の平均勉強時間
 何分勉強したかを7日間合計し1日の平均勉強時間を出しました。
 目標時間は、(学年×10+10)分で、全学年において目標時間以上の勉強ができました。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
目標時間	20	30	40	50	60	70
平均時間	26	41	60	55	61	74

5年生

ぼく・わたし

☆目標時間を目安に毎日取り組めた。
 ☆勉強を始める時間が守れた。
 ☆言われなくても自主的に取り組めた。
 ◇これからも継続してがんばってほしい。

おうちの人

◇成長が感じられてうれしかった。
 ◇親子で漢字学習を一緒にして、楽しさを感じることができた。

宿題以外の内容を自分で決めて家庭学習に取り組める児童も増加！

6年生

ぼく・わたし

☆自ら進んで勉強することを意識してできたのでよかった。
 ☆目標より多く取り組めた。これからも目標を立てたい。
 ☆こつぐんが終わっても勉強の仕方を工夫したい。

おうちの人

◇取り組む内容や量を自分で考えて学習できていた。
 ◇ゲームをする前に勉強を終えることができた。
 ◇自ら進んで机に向かう姿が素晴らしい。
 中学生に向けてがんばってほしい。

今回の発表の取り組みを始められて6年ということでしたが、その成果がアンケートの集計結果からも確認することができます。ありきたりの言葉ですが、「継続は力なり」、習慣化させるために、取り組みを複数年継続して行うことが大切なことだということがわかります。

そして、活動後のアンケート・振り返りを丁寧に行い、数値化してみえるところがとても素晴らしいと思います。数値化したことで、「こつぐんマスター」に、どの学年も半数以上の児童がなっていること。すべての学年が平均家庭学習時間も目標の時間数を超えていることが一目瞭然で、取り組みの成果が明らかになっています。

集計は学級委員さんが学年ごとに行ったようです。大変な作業であったとのことですが、Webによるアンケートは、集計の手間が省けるので上手に使われるとよいかもしれません。改良を加えながら地道に実践されてきたことが、この取り組みの成果につながっていると思います。新たな課題に対する今後の取り組みにも期待したいと思います。

家庭教育学級リーダー研修会(中学校の部) 各務原市立桜丘中学校による実践発表

桜丘中学校では、様々な教育テーマについて、保護者と担当の先生がわいわいお喋りする研修行事「桜こみゆ」や給食を食べながら保護者同士が交流を行う「給食試食会」(右写真)のサロン型の子育て広場(家庭教育学級)を企画運営されてきました。

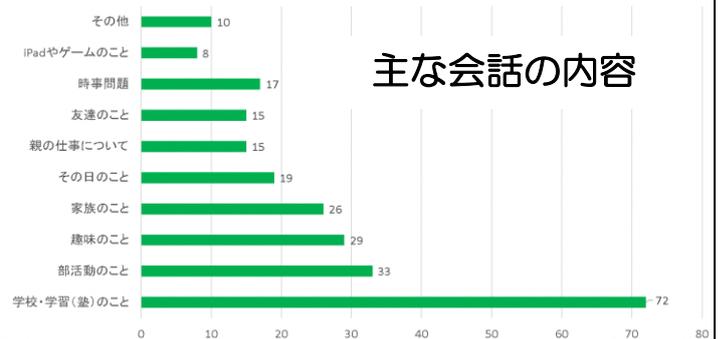
しかし、コロナ禍のためこの2年間は実施することができず、県が進めている「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動を在宅型の取り組みとして行ってこられました。今までは親子での会話の機会が増えるようにと、親子で同じテレビ番組を鑑賞したり、同じ本を読んだりして感想を交流する取り組みを行われたり、日常生活のことについて親子でお互いの考えを交流することを大切にされてきました。

今回は、新しい取り組みとして、夏休みに親子で一緒に食事を作るという協同作業を通して、会話する機会を増やそうとする実践をされて、それについて発表いただきました。



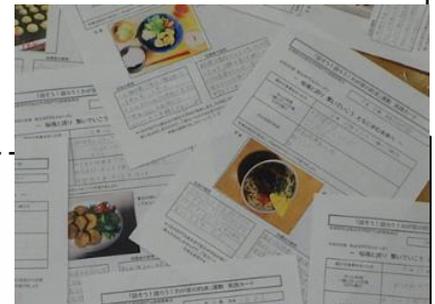
今回は「食」について取り組まれましたが、理由の1つとして、昨今よく目にしたり、耳にしたりする持続可能な開発目標「SDGs」を意識されたことがあるようです。17の目標のうち下の2つの目標にも関連付けての取り組みとされました。

SDGsについては、学校生活の中でも取り扱う内容ですので、子どもたちも違和感なく会話のテーマとすることが可能ですね。



一緒に料理をすることで、普段だと話しにくいこととかが話せたことで、少しだけすっきりしたし、話がとても弾んだ。(子ども)
 近い距離で同じ作業をしながら会話することが新鮮であり、貴重な時間でもありました。このような機会があり良かったです。(保護者)

実践カードの結果から、親子の会話は学校や学習に関わる人が多いです。また、料理をしながらですので、会話が弾んだことがわかります。ねらい通りですね。
 子どもたちの感想からは、「親の大変さ」や「ありがとう」に気づいたとする子どもも多く、「親への感謝の気持ち」を記している子どもも多いです。これも成果ですね!



《保護者の感想》

普段会話はあっても、一緒に何かやるということはないので、同じ作業を行うことで親子ともども成長したと思います。これからも続けていけたらよいですね。
 近い距離で同じ作業をしながら会話することが新鮮であり、貴重な時間でもありました。このような機会があり良かったです。

楽しいひと時を過ごせました。料理をすることに精一杯で、料理中に会話を弾ませることは難しかったですが、一緒に作ることで、食に関心を寄せることはできたようです。

料理を作りながら、夏休みに楽しかったことや今後どういう風に過ごしたいかなど、色々話せました。年齢的に口数が少なくなりますがいいコミュニケーションがとれました。

今年度の取り組み

「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動

昨年度までは、夏休みに親子で同じテレビ番組を鑑賞することや読書をして感想や日頃の生活について話をするところを行って来た。

今年度は、夏休みを利用して親子と一緒に食事を作りをする活動を通して、家庭でのコミュニケーションをとる場とした。

近年、日本では核家族が多くなり、共働きが増えたことで毎日の食事を親子で食べる、作る機会が少なくなっていると感じる。親子で食事を作る、食卓を囲むことで、食の大切さを学んでほしいという思いも込めた。

《活動の取り組み方》

- ①活動内容を家族で理解する
・日時を決め、親子と一緒に食事を作る
・普段の学校生活や友達のことや家での過ごし方などについて話をする
- ②iPadで食事を作る様子や出来上がった食事を撮影し、担任に提出する
- ③実践カードに活動の記録や感想を記入する
- ④夏休み明けに担任に提出する

「話そう! 語ろう! わが家の約束」実践カード			
各務原市立桜丘中学校 家庭教育学級			
今年度実施 桜丘中学校 家庭教育学級	年 級	姓 名	氏 名
今年度実施 桜丘中学校 家庭教育学級			
～ 保護者と語り 聞いていこう! ともに歩む未来へ ～			
親子で食事を作った日	月	日	時
お母さんやお父さん、お兄さんやお姉さん、お友達と一緒に食事をしたの? (はい/いいえ)	○	○	○
写真撮影の有無	○	○	○
写真撮影の有無に、写真撮影の場所や撮影した写真の枚数を記入してください。			
写真	感想	感想	感想
写真撮影の有無に、写真撮影の場所や撮影した写真の枚数を記入してください。			
写真撮影の有無	感想	感想	感想

《生徒の感想》

いつも食事の準備を父や母に任せているけど、すごく大変だと実感しました。
 久しぶりに一緒に作る事ができてとても楽しかったです。両親がいつもこんなに手間暇かけていることを知って感謝の思いでいっぱいです。
 毎日の料理だけでなく、掃除や洗濯などをしているお母さんはすごいと感じ、時間の使い方が上手なんだと思いました。何か手伝えることがあれば手伝いたいです。
 大変だったけど楽しかった。親は毎日料理をついているから、改めて残さず、ありがたみを感じて食べようと思いました。